

# 陵成story

## 令和8年1月13日発行！ 第二章

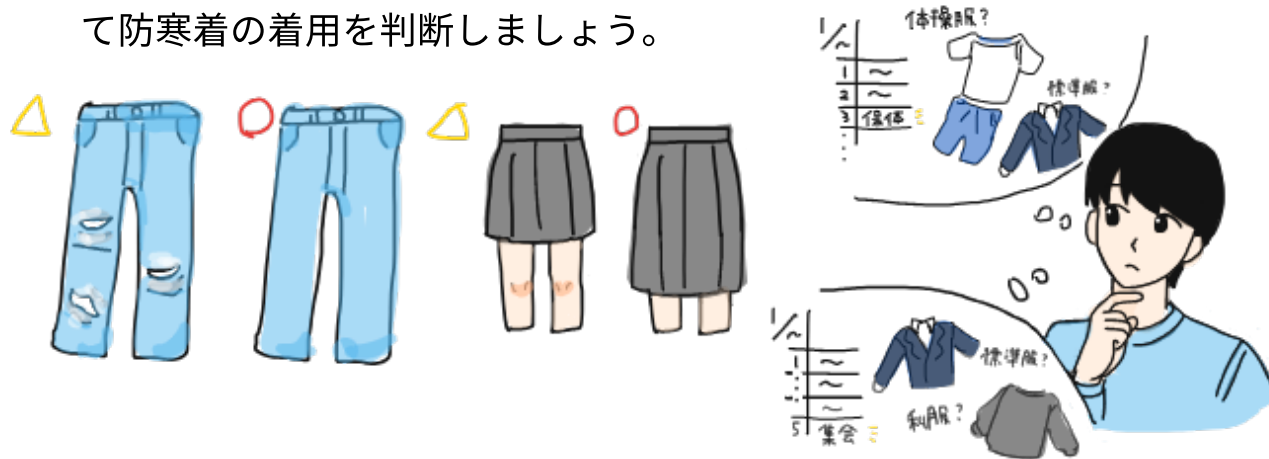
1月13日から2月13日はAIP強化期間です。  
AIP強化期間では自分で考え、判断した服装で過ごします。

自分で考えた服装で学校生活を過ごすということはどういうことでしょうか。自分が着たい服を着てオシャレをすることがAIPを意識した行動ではありません。

ダメージが多く入ったジーパンや、過度な露出がある服、短すぎるスカートなどの派手な服装は学校生活にふさわしいと言えるでしょうか。また、保体がある日には体操服を家から着てくることで着替えの時間を短縮し、効率よく行動することができます。集会がある時にはどのような服装で来るのがよいでしょうか。

AIP強化期間を通して、自分で「TPO」に基づいた判断ができるようになります。それは周りのことを思いやることにも繋がります。

また、冬の期間は寒いため、防寒着を着用すると思います。AIP強化期間だからといって、自由に防寒着を着用していいわけではありません。暖房がついている部屋で、ウィンドブレーカーを着用してもいいのでしょうか。普段のルールにのっとって防寒着の着用を判断しましょう。



### 各実行委員会の取り組み

生徒会執行部  
挨拶企画と学校生活やAIPについての呼びかけを放送で行います。

生活実行委員会  
挨拶運動は週に三回行い、AIP強化期間中にはルックタイムや陵成heroesを行います。

美化実行委員会  
掃除チェック、花壇の整備、掃除道具点検、ワックスがけ、水やりを行います。

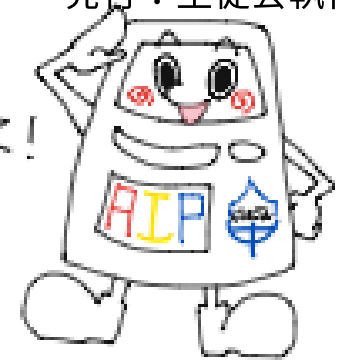
広報実行委員会  
ノーチャイムデーを実施します。

図書実行委員会  
思い出の本アンケートを実施します。

保体実行委員会  
換気チェックとハンカチチェックとグラウンド見守り隊をやります。

福祉実行委員会  
書き損じはがき集めをします。

# 陵成story 令和8年1月13日発行！読んでネ！



「陵成中の生徒による地域のための自動販売機」について

気温が下がってきたことに伴い、自動販売機のラインナップにホット飲料を導入しました！導入したホット飲料は、緑茶(280ml)、ほうじ茶(280ml)、ほうじ茶(525ml)、その他です。ルールにもある通り、置いてある飲料は学校を利用する外部の方や先生方が使うことも想定した上で選んでいます。冬に向けてさまざまな飲料が追加されましたが、引き続きルールをしっかり守り、学校生活と自分の購入する目的にあった飲料を判断して使用しましょう。

## こんなときどうする？

もし、ルールを守っていない人を見つけたとき、あなたはどのような行動をとりますか？このプロジェクトは陵成中の生徒の意見によって始まったものです。そのため、ルールを守っていない人を見つけた時、声をかけるのは先生ではなく、私たち生徒です。その場で声をかけることができなくても、クラスの代表員、代表委員、また執行部に相談するなどの行動をとってみてください。

## 執行部からのお願い

ルールにある通り、持ってくる金額や買う飲料の種類などは、生徒各自がAIPを意識して判断することとしています。私たち執行部は、今回設置された自動販売機を、生徒の皆さんがさらにAIPの考えを深めるためのツールにもして欲しいと考えています。誰もが安心して使えるようにするため、また、これから先の代にも繋げていくため、みなさんの協力が必要です。よろしくお願いします。

## 第二章

### ルール

- 原則として飲料水は家から持参すること。自動販売機での購入は、補充時や緊急時とすること。
- お金はしっかりと自己管理をすること。お金を貸す・借りる、友人に買わせる、おごらせることは絶対にしない。紙幣は使用できない。持ってくる金額は各自AIPの意識を持って判断すること。
- 自動販売機の使用時間は、9:00～22:00とする。
- 在庫には限りがあるため、必要な人が必要な時に使用できるよう、必要な量だけ購入すること。
- 自動販売機を大切に扱い、叩いたり揺らしたりしないこと。
- 自動販売機の周りを綺麗に保つこと。リサイクルボックスには、飲み切った飲料の容器を洗って捨て、それ以外のゴミは捨てないこと。飲み残しがあるものは、各自家に持ち帰ること。また、家からペットボトルで持参した飲料水を飲み干した時、ダイードリンクコではない会社の空容器も洗ってリサイクルボックスに入れて良いこととする。
- 学校を利用する外部の方や、先生方が使うことも想定してさまざまな種類の飲料を置いているため、生徒は各自でAIPを意識して、学校生活と自分の購入する目的に合った飲料を判断すること。
- 飲料を購入したら、そのことを保護者に伝えること。



学校生活と自分の購入する目的にあった飲料を判断して使用しましょう。